南丹市教育委員会会議録

令和6年第9回定例会

(令和6年9月19日)

令和6年南丹市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時 令和6年9月19日(木)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時25分
2. 場 所 南丹市役所2号棟3階 301会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 國府 常芳
5. 出席委員 教育長 國府 常芳
教育長職務代理者 前田 好久
委 員 城戸 貴子
委 員 湊上 真奈美
委 員 一谷 昌道
6. 欠席委員 なし
7. 事 務 局 教育次長 野々口 智司
こども家庭センター長 谷口 悌
教育参事 山田 啓亮
学校教育課長 山田 真美
学校教育課参事 木上 恵理
学校教育課参事 中川 大輔
社会教育課長 川勝 美穂子
8. 傍 聴 人 なし

日程1 開会

教育長が令和6年南丹市教育委員会第9回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に木上学校教育課参事を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 日程報告

(教育次長)

- 8月10日、南丹市文化会館 令和6年度夏季企画展（9月29日まで）
- 8月16日、令和6年度 なんとんむ〜び〜
- 8月19日、学校給食運営委員会
- 8月20日、南丹・船井人権教育研究大会
- 同日、小中学校研究主任会議
- 同日、市文化協会理事会
- 同日、第2回 主任人権啓発推進員・人権教育啓発推進委員研修会（園部会場）
- 8月21日、こどもワークショップ
- 8月22日、市長と語ろう私たちのまちづくり
- 8月23日、教職員夏季研修会
- 同日、第2回主任人権啓発推進員・人権教育啓発推進委員研修会（八木会場）
- 8月26日、京都府南丹広域振興局行政懇談会
- 8月27日、9月議会本会議（開会日）
- 同日、第2回主任人権啓発推進員・人権教育啓発推進委員研修会（日吉会場）
- 同日、要保護児童対策地域協議会実務者会議
- 8月29日、小・中始業式
- 同日、園所長会
- 8月30日、道徳教育第2回推進協議会
- 9月2日、幼稚園始業式
- 同日、防災訓練（備蓄食訓練）
- 9月3日～5日、9月議会一般質問
- 9月10日、小中学校長会議9月定例会
- 9月13日、（全国）教育委員会連合会研修
- 9月16日、オーサービジット（一般向け）
- 9月17日、奈良県人権保育研究会・実践発表

(前田委員)

9月7日に実施された「ヒューマンシネマ」に教育委員会は関わっていないのか。

(事務局)

職員が応援には出ているが、事業の主催は人権政策課が行っている。

(2) 令和6年9月定例会における一般質問について

(事務局)

資料により説明

(前田委員)

美山文化ホールについて、財源の問題もあると思うが、原発事故の際の避難所として整備するのであれば、防災の補助金が付くこともあると思う。避難施設として整備する方策があるなら検討してもらえたらありがたい。

(事務局)

答弁させていただいたとおり、美山文化ホールの代替施設として美山小学校の施設も候補の一つとして視野に入れている。原発の関係でも手立てがないか、探してみる。

(前田委員)

敦賀原発の再稼働についても議論されており、ホールも避難場所として活路が見出せたらいいので、検討いただきたい。

(事務局)

どれだけの補助が出るのか探りながら考える必要があるが、現状は厳しい状況である。

(3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき説明

日程5 議事

議案第 46 号 南丹市教育委員会事務の「点検・評価」の結果報告について

(事務局)

上記議案について説明

(前田委員)

「達成指標提示困難事業」の文言に差異があるので統一してはどうか。

(事務局)

修正させていただく。

(前田委員)

美山文化ホールの利用件数がマイナスになっているが、施設が十分ではないという反省点もふまえた評価にするべきだと感じた。ヘルプデスク、シングルサインオンについて説明願いたい。

(事務局)

GIGAスクール構想によるタブレットの活用において、これまで年度更新作業等をお世話になっていたサポーターに代わり、あらたに業者と契約を締結しヘルプデスクとしての対応に変更した。

シングルサインオンについては、教員用、児童生徒用のタブレットで活用しているアプリ等のログインについて、マイクロソフトアカウントのログインIDで一括して運用することが可能である。

(城戸委員)

全体的に「指標」に関する指摘が多いが、これまでの年度と比較して何か違いがあるのか。

項目番号1, 21 など、予算額と決算額の差が大きい理由は。

(事務局)

今回、指標の設定について指摘を受けているが、以前から長期的な視点や数値で表せる指標にしてはどうかとの意見をいただいていた。しかし、個々の事業内容を評価される意見の方が多かったため、その内容を翌年度の事業に反映できるようにと受け止めていた。今年については、指標が改善されていないとの指摘を受け、今後は今年度の指摘事項を反映させた指標を設定し、次年度以降に活かしたいと考えている。

予算額と決算額の差についてであるが、項目番号21番の子どものための地域連携事業については年度当初に学校から提出された年度計画に基づき予算を立てている。実績として、そこまでの支出がなかったり、消耗品が少なく済む等の状況であった。本来であれば、年度途中で学校に聞き取りを行い、減額補正をするべきであり、次年度より精査したい。

項目番号1番の教育研究事業については、教職員研修の講師謝礼等もあるが、その中で「学びのプラットフォーム」を事務事業として掲載しており、決算額についてはその分の経費を記載しているため、予算額と決算額に差が出ている。

(前田委員)

ガソリンチケットの支払いについてはどうか。

(事務局)

チケットは、私有車登録をして公用車の代わりに使用した際にその分をガソリンチケットとして支払うことを想定していたが、事務手続き等の諸事情もあり、申請が少なかった。

(前田委員)

距離計算等はデジタル化により解決出来ると思うので、いい方法があったらよいと思う。

(事務局)

なかなか浸透しない。来年度以降、課題を克服していきたい。

(城戸委員)

項目番号 11 の意見内容で、不登校といじめとの連鎖について、不登校の背景についての記載があるが、項目番号 11 と 14 の意見内容との整合性を図ってはどうか。

(事務局)

表現については、修正させていただく。

(城戸委員)

項目番号 13 の外国語教育推進事業について、実践の方向性として「外国語教育や多様な文化の学習の充実」と位置づけられているが、達成度が英検の受験者数のみで表されている。「多様な文化の学習の充実」の視点からの達成度としては限界があるのではないか。

あわせて英検受験者数の記載が「補助対象分」のみの人数で書かれているが、もったいないと思う。対象外の方も含めて、年間の受験者数で表記してはどうか。

項目番号 14 の「適応指導教室」の表現は変えないのか。

(事務局)

外国語教育推進事業について、ご指摘のとおり文化的な側面が反映できていない点について、記載するよう考慮していきたい。学校レベルでは、アフリカ等と繋いで授業をするなど取り組みをしているが、予算化していないので記載できていなかった。

英検の受験者数については、この補助金により助かっている方も多いが、対象となる第2回目だけでなく、第1回目や第3回目の人数も把握しているので、今後は反映させていきたい。

項目番号 14 の「適応指導教室」の表現は次年度の報告書から変更させていただく。

[採決]

議案第46号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程6 その他

(1) 行事予定

(事務局)

上記について説明

(2) 学校教育課からの報告

- ・新聞掲載記事について
- ・いじめ調査結果について
- ・令和6年度運動会・体育祭日程について
- ・スポーツ文化賞表彰開催日について
- ・令和6年度市町村教育委員会研究協議会（9月13日）について
- ・全国学力・学習状況調査の結果報告について

（事務局）

研究協議会にご参加いただき、ご感想やご意見などがあれば。

（一谷委員）

不登校の分科会に参加したが時間が短かった。事前調査の重要性を感じた。不登校の原因についていろいろと意見交換された。不登校の理由を考えることも大切であるし、一方で学校の魅力についても視点を向けたらよいと思う。

（淵上委員）

部活動の分科会に参加した。どの市も部活動の地域移行や地域連携について検討されており、指導者の人材確保と移動手段、財政面での課題について多く意見が交わされた。

人材確保について、都道府県から派遣されたらよいとの意見もあり、また国としても先進地を把握していきたいとの回答であった。行政からは、地域の状況がそれぞれ違うので、地域の実情に合わせたサポートをしていきたいとの提案もあった。その中で、地域スポーツクラブアドバイザー要員として活動されている先進事例があり、相談した市町に出向いていただけるような制度もあると紹介されたので、活用できれば良いと思う。

（城戸委員）

いじめの分科会に参加した。いじめの重大事象を何件も抱えている市もあり、裁判になるなど教育委員会事務局が平常の事務をこなせないような状況で疲弊しているというような話を聞いた。例えば、小学校での事象が数年後に中学校で発覚し、初期対応に対する訴えが出て第三者委員会を立ち上げ、さらに保護者間のSNSで情報が流れるなど、收拾がつかなく泥沼化しているというような事例も聞かせていただいた。

初動対応を間違えると信用問題に発展する。SNS上で保護者間で情報が交わされるという怖さを感じた。

（前田教育長職務代理者）

いじめ対策連絡協議会の資料を持って参加した。重大事態があったとの説明を聞いたので、帰ってからインターネットで検索したところ、壮絶な事象であったことが分かり、犯罪であると痛感した。スクールロイヤーを入れている市もあったが、学校が入れている弁護士であるため保護者対応をされないと聞いた。また、相生市では、「いじめ防止サミット」を開いて宣言を出す取組をされている。

いじめはどこにあっても不思議ではないので、認知を増やして、いじめを

減らすことが重要であると感じた。学校と市と保護者の連携が大切である。

- (3) 社会教育課からの報告
 - ・人権教育講座（第2講）について

- (4) こども家庭センターからの報告
 - 特になし

- (5) その他
 - 特になし

[次回定例会について]

(教育長)

次回定例会の開催は、令和6年10月18日（金）午後2時からとする。

午後5時25分 閉会

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

令和6年9月19日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長